

「圧力調整注入工法」は、

日本全国のひび割れ補修に使われています。

そして、その広がり海外へ。

全国の施工協力店が対応！

全国の建設会社が圧力調整注入工法の施工協力店としてコンクリート構造物のひび割れ補修を行います。そしてそのネットワークは拡大しています。
*施工実績370件超(2020.12現在)

※施工協力店は随時募集しています。

圧力調整注入工法は、日本その他の国で登録された株式会社栄組の特許を使用したひび割れ補修技術です。

SAPIS は、日本その他の国で登録された株式会社栄組の商標です。



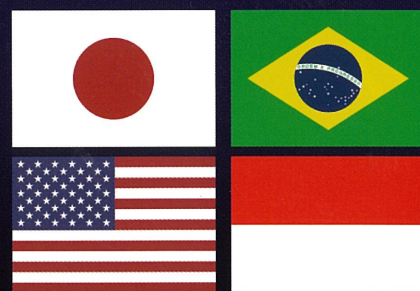
海外での取組

コンクリート構造物の長寿命化に対する海外からの要請に応えるため、政府系の海外展開事業への参画、国営企業、民間企業との事業連携を深め、圧力調整注入工法によるコンクリート構造物の長寿命化に取り組んでいます。

JICA民間連携事業(基礎調査):ブラジル国
コンクリート構造物の長寿命化に資するひび割れ・劣化部補修事業に関する基礎調査

JICA民間連携事業(案件化調査):ブラジル国
圧力調整注入工法を活用したコンクリート構造物の補修及び長寿命化にかかる案件化調査

圧力調整注入工法は、日本、アメリカ、ブラジルの特許を取得した(インドネシア:特許出願中)技術に基づく工法です。



施工協力店



SINCE 1935

総合建設業
株式会社

中綱組

〒034-0036 青森県十和田市東六番町3番36号

TEL 0176-23-7175 FAX 0176-23-7173

<https://nakatuna.com> E-mail:nakatuna@cocoa.ocn.ne.jp

開発・製造元



株式会社 栄組

〒028-0776 岩手県遠野市上郷町板沢9-19-1

TEL:0198-65-3032 FAX:0198-65-3324

<http://www.sakaegumi.jp/> E-mail:info@sakaegumi.jp



コンクリート構造物の長寿命化

ひび割れの注入技術

サピス

SAPIS

圧力調整注入工法

Sakae Adjustable Pressure Injection System

 SAKAEGUMI

成熟社会の日本
社会資本のライフサイクルコストの低減が
喫緊の課題です。

インフラの長寿命化の実現へ

「圧力調整注入工法」は注入性能、適応力、環境負荷の低減に優れているため、
長寿命化に貢献するひび割れ補修が可能です。

現在、高度経済成長期に整備されたコンクリート構造物は更新時期を迎えています。
今後急増する、老朽化した構造物を安心して利用するためには、適切な補修等によるコンクリートの長寿命化技術が必要不可欠となっています。

適切な補修により、補修費の軽減とともに、長期にわたりコンクリート構造物を利用できます。



サピスの
優位性

1

信頼される注入性能
Performance

真空吸着型とノズル型の
二つの圧力調整注入工法
(詳細は次頁)

注入品質を高める新たなシステムを構築

- 注入装置の継続的な改良・開発
- 困難な注入を可能にする2つの注入機構
- 注入可能な幅・深さが大幅に向上
- 独自の施工管理基準を設定

2

優れた適応力
Versatility

あらゆる補修材、ひび割れ・浮き・止水に対応可能

- 複数材料の連続注入可能
- 樹脂・セメント・含浸系材料の使用可
- 土木構造物・建築物・部材に適用
- 様々なアタッチメントを装備

3

環境負荷の低減
Eco-friendly

廃棄物の排出ゼロ、施工速度の向上で工期短縮

- 注入器具の廃棄ゼロ
- 注入器具の接着が不要
- 注入材料のロスが減少
- 施工時間の大幅な短縮

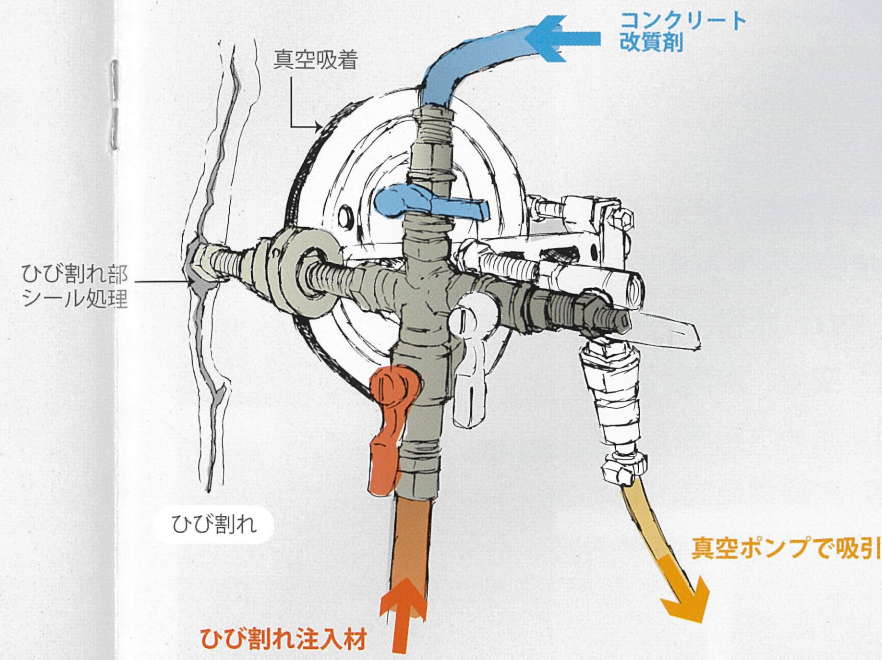
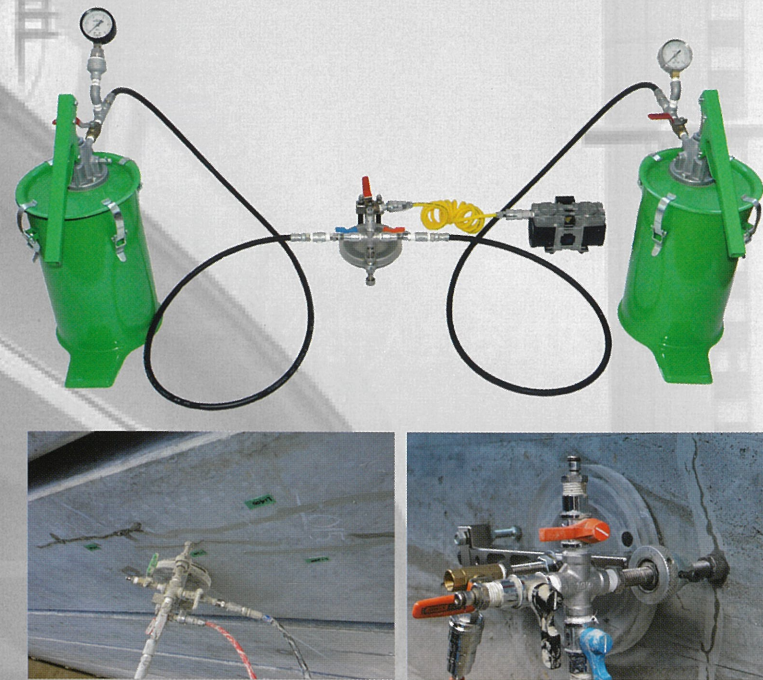
技術開発・普及に積極的に取り組む榮組

榮組は「注入工法」の研究・技術開発を行うとともに、現代社会のインフラの課題でもある長寿命化の実現を社会的ミッションとして優れた補修工法の導入や他社への技術紹介、指導、普及にも積極的に取り組んでいます。

「圧力調整注入工法」は2つの注入機構を有し、**施工現場の状況に合わせた工法が選択できます。**

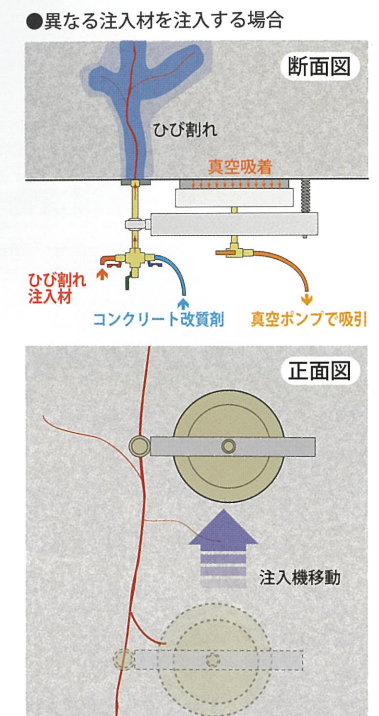
表面から
注 入

真空吸着型圧力調整注入工法



TH-110002-A

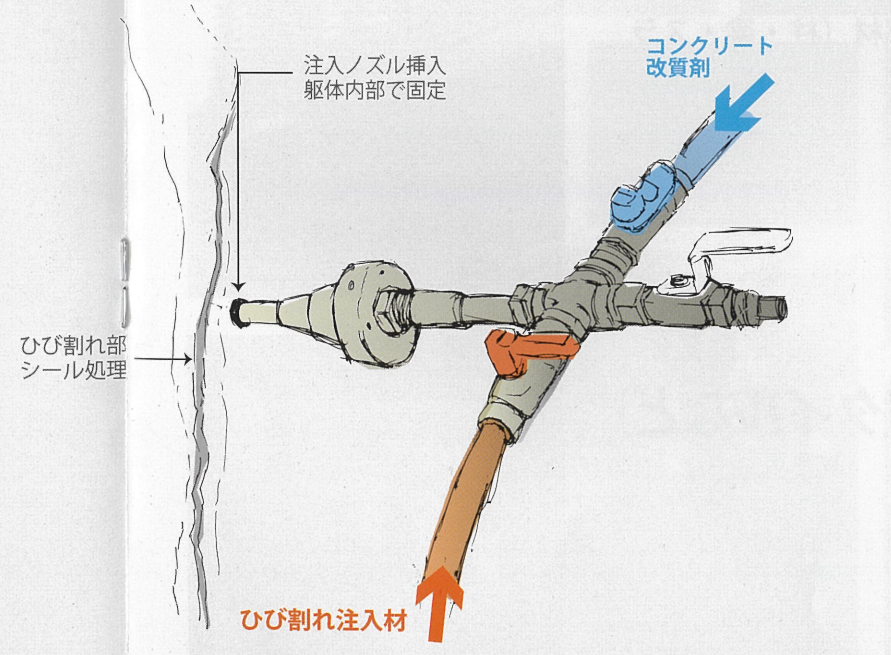
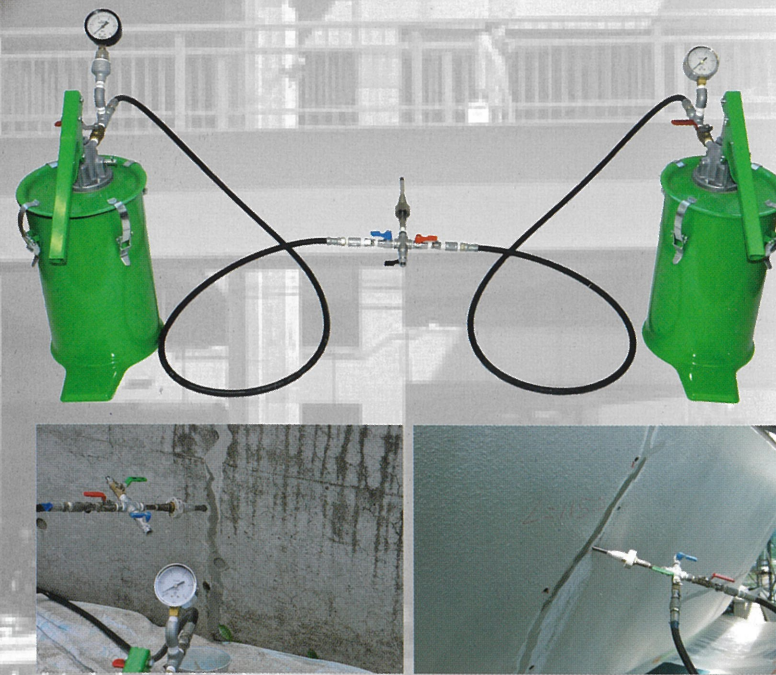
●施工フロー



- 開始
- 注入口マーキング
- ひび割れ面シール工
- 注 入 工
- 養 生 工
- 仕 上 げ 工
- 完 了

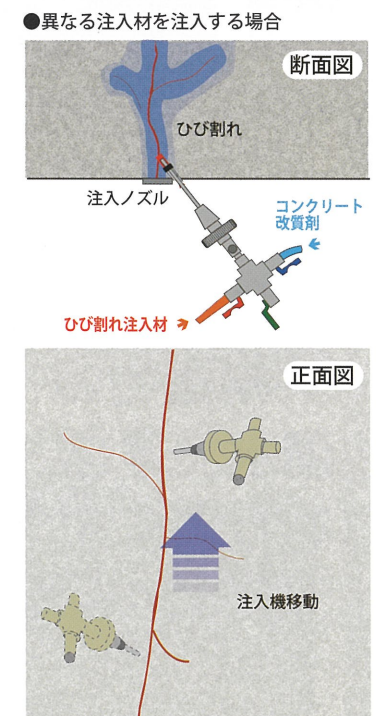
内部から
注 入

ノズル型圧力調整注入工法



TH-110003-A

●施工フロー



- 開始
- 注入口マーキング
- 穿 孔 工
- ひび割れ面シール工
- 注 入 工
- 養 生 工
- 仕 上 げ 工
- 完 了

圧力調整注入工法
による補修対象

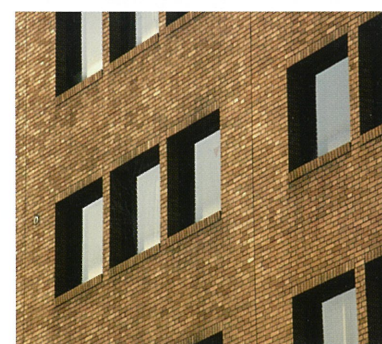
補修対象

●土木構造物

橋梁上部工（床版・桁・高欄・地覆）、橋梁下部工（橋台・橋脚）、トンネル、コンクリート舗装、ダム、水槽、上下水道施設・上下水道、空港、港湾、防波堤・防潮堤、水門、農業水利施設、鉄道（保線・構造物）、通信施設、エネルギー供給施設、ボックスカルバート、擁壁、護岸

●建築物

高層ビル、病院、文化施設、官庁施設、集合住宅、学校、工場、スポーツ施設、公園、地下空間、部材（柱・梁・スラブ・基礎・内外壁）



私たちの身近にある
コンクリート構造物の
ひび割れ、漏水、浮き（外壁タイルなど）
などの補修を行います。

施工事例

